



読み継がれた源氏物語

Thematic Exhibition: Reading and Re-envisioning *The Tale of Genji* through the Ages

令和2年(2020)11月8日(日)～12月13日(日)
主催: 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

『源氏物語』は、現代に至るまで千年にわたり読み継がれてきた古典の名作です。その作者である紫式部による日記『紫式部日記』には『源氏物語』の成立に関わる場面が記されており、平安時代、一条天皇を中心とする宮廷生活のなかで、いかに『源氏物語』が生まれ、享受されたかがわかります。

『源氏物語』は、壮大な長編物語にもかかわらず、多くの人々によって幾度となく書き写され、数多くの注釈書が著されるとともに、絵画化も図られました。後世の文学作品に多大な影響を与えたばかりでなく、和歌や能楽、茶道、香道といった日本文化にもその片鱗を見いだすことができます。

[凡例] ・前期: 11/8(日)～11/25(水) 後期: 11/26(木)～12/13(日)
・都合により出品作品を変更する場合があります。
・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
・◎は国宝、◎は重要文化財を示します。
・所蔵の記載のない作品は徳川美術館所蔵です。

No.	作品名・所用者・伝来・寄贈者など	時代	世紀	所蔵者／展示期間
1. 紫式部と「紫式部日記絵巻」				
1	紫式部集切 伝藤原定家筆	鎌倉	13世紀	個人
2	紫式部集切(古筆手鑑「鳳凰台」所収) 伝藤原定家筆 岡谷家寄贈	鎌倉	13世紀	
3	◎ 紫式部日記絵巻 詞書 三面・絵 三面	鎌倉	13世紀	五島美術館
	第一段 詞書・絵			前期
	第二段 詞書・絵			前期
	第三段 詞書・絵			後期
4	紫式部日記絵巻 現状模写 加藤純子筆 三面	現代	平成30年<2018>	五島美術館
	第一段 絵			後期
	第二段 絵			後期
	第三段 絵			前期
2. 読み継がれた『源氏物語』 伝本と注釈				
5	◎ 源氏物語 河内本 二十三冊の内 足利将軍家・徳川家康(駿河御譲本)・徳川義直(尾張家初代)所用	鎌倉	正嘉2年<1258>	名古屋市蓬左文庫
6	源氏物語 松風(別本系) 伝越部局筆 平戸松浦家伝来	鎌倉	13世紀	名古屋市蓬左文庫
7	源氏物語 総角(青表紙本系) 伝源頼政筆 平戸松浦家伝来	鎌倉	13世紀	名古屋市蓬左文庫
8	源氏物語 浮舟(別本系) 伝藤原為家筆 平戸松浦家伝来	鎌倉	13世紀	名古屋市蓬左文庫
9	源氏物語抜書 賢木 伝後光厳天皇筆	鎌倉	14世紀	
10	源氏物語 三条西家本(青表紙本系) 五十四冊の内 附 桐蒔絵重箱型本箱 本寿院下総(尾張家3代綱誠側室・4代吉通生母)所用	室町	天文2年<1533>	名古屋市蓬左文庫
11	源氏物語(青表紙本系) 里村紹巴奥書 五十五冊の内 附 桐木目蒔絵書物簞笥 本寿院下総(尾張家3代綱誠側室・4代吉通生母)所用	桃山	天正8年<1580>	名古屋市蓬左文庫
12	原中最秘抄 花山院長親筆 平戸松浦家伝来	室町	14-15世紀	名古屋市蓬左文庫
13	河海抄 四辻善成著 伝一条兼良筆	室町	15世紀	名古屋市蓬左文庫
14	岷江入楚 中院通勝著 五十五冊の内	江戸	17世紀	名古屋市蓬左文庫
15	絵入源氏物語 山本春正編 六十冊の内	江戸	承応3年<1654>	
16	湖月抄 北村季吟著 六十冊の内	江戸	延宝元年<1673>	名古屋市蓬左文庫
17	源氏物語玉の小櫛 本居宣長著 九冊の内	江戸	寛政11年<1799>	名古屋市蓬左文庫

No.	作品名・所用者・伝来・寄贈者など	時代	世紀	所蔵者／展示期間
-----	------------------	----	----	----------

3. 『源氏物語』の絵画化と江戸の源氏絵

18	◎ 源氏物語絵巻 橋姫 十五巻の内一卷	平安	12世紀	後期
19	源氏物語絵巻(模本) 田中親美模写 三巻の内一卷	昭和	昭和10年<1935>	前期
20	◎ 源氏物語絵詞 詞書 伝冷泉為相筆	鎌倉	13世紀	
21	源氏物語画帖 詞書 徳川秀忠(2代将軍)筆 詞書五十四枚・絵五十四枚の内	桃山-江戸	17世紀	
22	源氏物語画帖 絵 土佐光則筆	江戸	17世紀	
23	源氏物語図屏風(源氏物語・平家物語図屏風の内) 伝岩佐又兵衛筆 六曲一双の内右隻	江戸	17世紀	宮内庁三の丸尚蔵館
24	源氏物語絵巻 桐壺 絵 市川光重筆 三巻の内上巻	江戸	明暦元年<1655>	個人
25	源氏物語画帖 絵 清原雪信筆 真光院良子(尾張家18代義礼正室)所用	江戸	17世紀	個人
26	白描源氏物語色紙画帖	江戸	17-18世紀	
27	源氏物語藤裏葉図 板谷広長筆	江戸	18-19世紀	
28	源氏物語図屏風 狩野永岳筆 六曲一双	江戸	19世紀	宮内庁三の丸尚蔵館

4. 『源氏物語』の広がり

29	合貝 三百七十五個の内	江戸	17-18世紀	
30	◎ 初音蒔絵十二手箱 霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	
31	◎ 胡蝶蒔絵帯箱 霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	
32	源氏物語蒔絵箔箱	江戸	17世紀	
33	須磨・明石蒔絵印籠	江戸	19世紀	
34	源氏物語図三所物	江戸	19世紀	
35	片輪車に夕顔図小柄 無銘 徳乗(後藤家5代)	桃山-江戸	16-17世紀	
36	扇に夕顔図目貫	江戸	17世紀	
37	古瀬戸野田手茶入 銘 蓬生	室町	15-16世紀	
38	瀬戸肩衝茶入 銘 手習 徳川斉荘(尾張家12代)命銘	江戸	17世紀	
39	◎ 純金葵紋蜀江文沈箱 霊仙院千代姫(尾張家2代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	
40	源氏香之図巻	江戸	18世紀	
41	香木 銘 紅葉賀 六十一種名香の内	東南アジア		
42	香木 銘 花散里 六十一種名香の内	東南アジア		
43	香木 銘 梅ヶ枝 中院通村命銘	東南アジア		
44	光悦謡本 野の宮	江戸	17世紀	
45	百番謡本 夕顔・玉鬘 伝観世黒雪筆 百冊の内二冊 平戸松浦家伝来 岡谷家寄贈	江戸	17世紀	
46	脩紫田舎源氏 柳亭種彦著 歌川国貞画 十九冊の内	江戸	文政12-天保13年<1829-42>	名古屋市蓬左文庫
47	其由縁鄙迺倂 十一冊の内 溪斎英泉・柳下亭種員・笠亭仙果作 歌川3代豊国(国貞)等画	江戸	弘化4-文久年間<1847-64>	名古屋市蓬左文庫
48	其姿紫の写絵 歌川3代豊国(国貞)画	江戸	嘉永5年<1852>	
49	東源氏朝顔ゆふらん 歌川3代豊国(国貞)画 三枚続	江戸	文久2年<1862>	
50	吾妻源氏若菜之巻 歌川3代豊国(国貞)画 三枚続	江戸	安政元年<1854>	

徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

〒461-0023 名古屋市東区徳川町
 徳川美術館 TEL：052-935-6262・名古屋市蓬左文庫 TEL：052-935-2173
<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>
<http://housa.city.nagoya.jp/>